

只見線利活用計画（2023-2027）に基づく

オリジナル観光列車導入に向けた 本格検討の開始

ふたたび、はじまる。
再会、只見線



令和6年6月21日
福島県


1. 観光列車導入検討の位置付け

只見線利活用計画（2023-2027）

重点プロジェクト

1 目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト

3 只見線オリジナル観光列車の導入に向けた調査・準備

役割分担				実施スケジュール				
県	市町	JR	民間（住民）	2023	2024	2025	2026	2027
●	○	●						

只見線オリジナルの観光列車の導入に向け、導入する観光列車のタイプや運行形態（運行方法、運行区間、ダイヤ等）、サービス、列車の仕様等について検討を行うとともに、観光列車として改装を行う車両の確保に向けた調査を行います。

役割 分担

【県】 望ましい観光列車の運行形態等の調査・検討

【JR】 観光列車として改装を行う車両の確保に向けた調査

令和5年度 意見交換・協議を実施

- ・沿線市町村、只見線を支えてくださっている皆様（期待とイメージ）
- ・JR、国土交通省、関係事業者（製造・改装や管理・運用）

2. コンセプトに関する意見

1 旅情をかきたてる列車	<ul style="list-style-type: none">● 旅に出て感じるしみじみとした思い
2 気軽に乗れる列車	<ul style="list-style-type: none">● 長距離乗車、短距離乗車どちらも楽しめる● 指定席予約の柔軟な運用
3 乗って楽しい列車	<ul style="list-style-type: none">● 長時間の乗車でもトンネル区間でも退屈しない● 記憶に残る体験
4 会津の自然や魅力を堪能できる列車	<ul style="list-style-type: none">● 会津の歴史、伝統、文化、料理を楽しめる● 不易流行
5 自然の風を感じられる列車	<ul style="list-style-type: none">● 窓を開けて車窓を楽しむ● 沿線に手を振る
6 外国人観光客にも魅力的な列車	<ul style="list-style-type: none">● インバウンドフレンドリー (導線、座席配置、サービスなど)

3. 内装に関する意見

1 上質・高級感	<ul style="list-style-type: none">● レトロクラシカル（大正ロマン）
2 ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none">● インバウンド対応● 車いす用の座席 など
3 現代風、女性の視点	<ul style="list-style-type: none">● 女性目線の導線配慮● 清潔感（トイレなど）
4 会津の文化資源の活用・展示	<ul style="list-style-type: none">● 会津木綿、からむし織、会津漆器、赤べこ、只見つる細工 など
5 売店	<ul style="list-style-type: none">● 生ビールサーバー、日本酒、コーヒーメーカー● オリジナル限定グッズ、鉄道マニア向けのグッズ など
6 旅行を楽しむ仕掛け	<ul style="list-style-type: none">● トンネルシアター、パワーウィンドウ、体験型イベントブース、ねこ駅長 など

4. オリジナル観光列車導入構想のポイント

1 車両の運用

- **会津鉄道に車籍**を置き、**会津線（会津鉄道）と只見線の共通運用**
- お座トロ展望列車の後継車両として、会津鉄道が管理

2 車両の製造

- 外観、内装等は、地元や観光客のニーズを反映
- コンセプト、デザイン、車内設備、車両編成数などの検討

3 おもてなし

- 会津線、只見線ならではのおもてなし、体験
- 車内サービス、車外サービスの提供検討



会津線×只見線を活かした地方創生のモデルを目指す

会津線・只見線オリジナル観光列車検討部会
本格検討を開始